

看護管理 第4巻 総目次

1994年(1～7号)

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ)

●焦点

- 新カリキュラム卒業生の実態と課題臨床実習を中心として：田川則子，1，4.
自主学习(サークル学習)を取り入れた現任教育：葭田美知子，2，68.
ABC分析を用いた無在庫方式による医療材料管理の検討：小阪美奈子，2，79.
変則3交替制の試み：若林稲美，4，200.
看護の現状と将来に対する大卒看護婦(士)の意識について：小西恵美子・他，4，205.
卒後1日目看護婦の仕事の満足度とSelf-Esteem：宮岡久子，6，348.
看護婦の勤務体制に関する研究－勤務体制のあり方を模索して：若狭紅子・他，7，414.

特集

日本看護政策研究会第3回フォーラム「効果的な看護システムの創造－看護システムと経済」

1. 病棟をつくる－トータルケアへのアプローチ：栗屋典子，3，137.
2. 看護スペシャリストの活用システム：眞嶋朋子，3，142.
3. 「生活の場」における看護提供：加藤ハマ子，3，148.
4. 質の高い看護ケア中心のシステムと費用：川村佐和子，3，153.
5. フォーラムを終えて：川島みどり・他，3，157.
6. 看護を中心とした療養に期待したいこと：石川左門，3，161.

〔関連論文〕

- 看護システム－その社会的側面：佐藤俊一，3，164.
効果的な看護システムの確立をめざして－基礎教育と卒後教育の狭間で：加藤和子，3，171.
看護部が病院のムダをチェックしよう－働き損をしないために：八木博次，3，178.
看護スタッフの経済感覚をどのようにして育てたか：新城トヨ，3，182.
コンピュータ導入による病棟看護業務支援システムの現状：小池美津子，3，189.

看護実践とエキスパートネス(兵庫県立看護大学第1回国際セミナーより)

- 主催者挨拶：南裕子・片田範子，5，281.
講演1・臨床知識・臨床研究・エキスパート臨床実

践：P. Benner，5，282.

講演2・新人からエキスパートへ：P. Benner，5，289.

講演3・日本の臨床看護において経験を積むということとは？：南裕子，5，297.

パネルディスカッション・看護実践とエキスパートネス

1. 医師とエキスパートネス：鶴山治，5，304.
2. 教員のエキスパートネス：服部朝子，5，307.
3. 看護婦の実践能力の発達とエキスパートネス：近澤範子，5，310.
4. 臨床看護婦のエキスパートネス：足利幸乃，5，312.

●特別記事

- 臨床における看護婦教育：新道幸恵，1，11.
インフォームド・コンセントにおける看護者の役割：澤田愛子，1，22.
開発途上国に対する保健医療協力の歴史的考察－主要先進国，WHOおよび日本のアルマアタ宣言前後を比較して：平岡敬子，2，79.

●緊急対談

- 制度改正の中で看護はどのように変わるか(1)：高橋美智・森山弘子，5，268.
制度改正の中で看護はどのように変わるか(2)：高橋美智・森山弘子，6，356.

●レーマ(高嶋妙子)

1. PLAN-DO-SEE，1，2.
2. ある投書から－看護婦の接遇教育について，2，66.
3. 創意工夫，3，134.
4. 「看護部の確立のために」見つけた行動指針，4，198.
5. 1つの主張を貫く，5，266.
6. 「考えること」にこだわって，6，346.
7. 「看護職員リフレッシュ研修」への思い，7，412.

●組織論からみた看護管理(前田マスヨ)

7. 看護管理と建築，1，26.
8. 職場風土と人的資源，2，92.
9. 看護管理に関する研究(2)－施設における助

産婦の適正人員配置, 4, 220.

10. 看護管理に関する研究(3)―短期・長期入院患者に対する看護業務―量と質の差異に関する研究より, 5, 322.

11. 看護管理における構造的側面, 6, 367.

12. 看護管理の変革, 7, 438.

●マンパワー管理

週休2日制導入に伴う看護業務の改善: 上山早苗, 1, 33.

リーダー研修における目標達成へのかかわり
1992(平成4)年度院内教育から: 河原林和美・他, 1, 39.

新人教育とシスター制度: 小中節子, 2, 99.

初めての婦長配置替え―その成果と今後の課題:
泉本亘子・他, 2, 104.

新規採用看護婦のリアリティショック対策としての
面接相談活動(コンサルテーション活動)の導入:
上泉和子・他, 5, 335.

副看護婦長到達目標の作成: 渡邊照代・他, 6, 387.
リーダーシップ研修の効果: 石掛恵子, 7, 471.

●看護サービス管理

患者の立場に立って考えた起床時間の検討: 柳沢
ひろ子, 1, 44.

看護記録の改善について: 志摩芳子・他, 2, 108.

受持ち制看護を導入して: 青梅市立総合病院東4
病棟, 2, 114.

●教育・研修・研究

プリセプターシップ3年間の評価: 打越光子, 1,
48.

婦長のリーダーシップに関するグループワーク法
の有用性―患者カンファレンスの充実を求め
て: 柴田明子・他, 5, 230.

新採用者を対象とした現任教育の実際―看護技術
および新採用者の思いからの病棟教育計画の評
価: 清水喜美子・他, 4, 236.

学生の実習評価の見直し―学生の自己評価と指導
者評価との比較から: 小西小夜子・他, 4,
242.

外来における働きがいのある業務改善―主任研修
としての取り組み: 笹山雪子・他, 4, 253.

実習指導者研修会を開催して: 永田智子・他, 4,
257.

ナースの研修レポートの評価法を考える: 関根照
代, 6, 399.

看護技術と技能教育: 床田弘子, 7, 425.

看護婦の放射線に対する不安の実態と効果的な院

内教育: 太田勝正・他, 7, 446.

看護学生の手精神科実習を考える: 岡山県立岡山病
院看護部, 7, 466.

●看護のシステム化

メッセージ業務のシステム化: 小泉世津子,
1, 54.

アテンダント(看護助手)の研修の有効性―介護の
独立を目指して: 鈴木小津江, 1, 59.

看護助手業務の分析から―5年間の病棟の問題解
決を振り返って: 中島千壽子, 2, 119.

患者看視総合システムを導入しての評価: 神郡典
子, 2, 125.

看護助手教育の継続を試みて: 松岡ケイ子・他, 4,
246.

外科・ICU(4床)に併設した急患部屋(4床)を持っ
た病棟運営上の問題点: 竹内孝子, 7, 452.

●マネジメントに生かす海外文献

医療制度改革後に病院が生き残るための重要な要
素: P.A. Prescott, 翻訳=松谷美和子, 4, 211.

●調査・研究

全国国公立大学病院看護管理者講習会受講者追
跡調査から(その1): 基本属性とライフイベン
トを中心に: 長友みゆき・草刈淳子, 6, 374.

全国国公立大学病院看護管理者講習会受講者追
跡調査から(その2): ライフコースとキャリア
発達からみた特性: 草刈淳子・長友みゆき, 6,
380.

大学病院における癌告知についての一考察―大学
病院とがんセンターの医師・看護婦の意識の比
較: 近藤暁子・他, 6, 392.

職員の防災意識実態調査: 永尾律・他, 6, 404.

主任の役割行動の評価と婦長, スタッフへのかか
り方: 東京都立神経病院看護科主任自主研究会,
7, 460.

●実践報告

看護業務省力化の一方略―薬剤部門増員への貢
献: 野尻昭代・中西睦子, 7, 431.

●書評

看護のかぎりない深さ: 評者/井上弘子, 1, 53.

システム思考による看護の管理行動(第2版): 評
者/三浦規, 3, 176.

看護業務のシステム化をめざして: 評者/吉井良
子, 7, 444.